晴れ時々めがね

2年次後期のサウントデザイン演習のの中島さんの提案である VoiceFactor(http://nagasm.org/1106/macs/2013/1122026.swf)を アレンジして制作を目標。

今回制作に当たって、

「体験者が発した声と表示される像のイメージが一致するには どうすれば良いのか」

という疑問に到達、調査へ。

## 調査

Flash ファイルを用いてメディア造形学科 2 年生 2 5 名に調査。 Flash ファイルからテキストを生成、メールにてテキスト解答。 →集計へ。

#### アンケートの答えに

- ・基本データ(性別・年齢)
- 音声データ
- ・画像データ(図形)
- 色データ

# 音声データ

強く短く発音したもの。

弱く短く発音したもの。

強く長く発音したもの。

強く短く発音したもの。

女性の声、男性の声、子供の声、複数人の声を用意する。

#### 最終的に

1男性強 5 渋い声

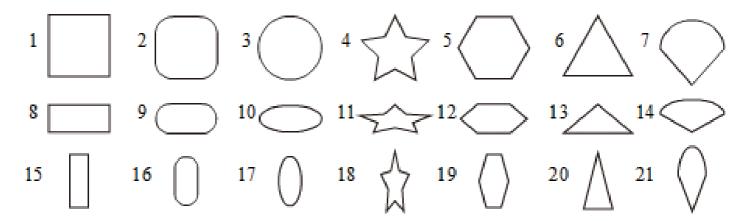
2 男性弱 6 中性的な声(少年の声)

3 女性強 7 少女の声(ちと元気)

4女性弱 8V系な声(うざい)

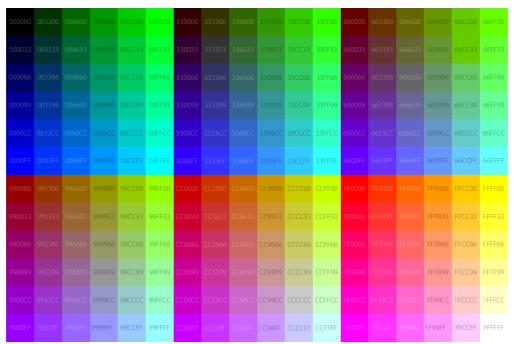
と分けた音声データを作成。

# 画像データ(図形)

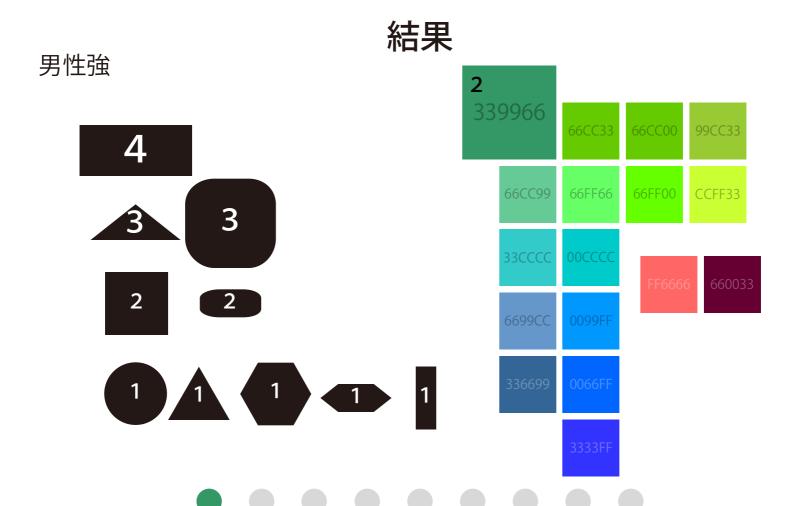


21個の図形を使用。

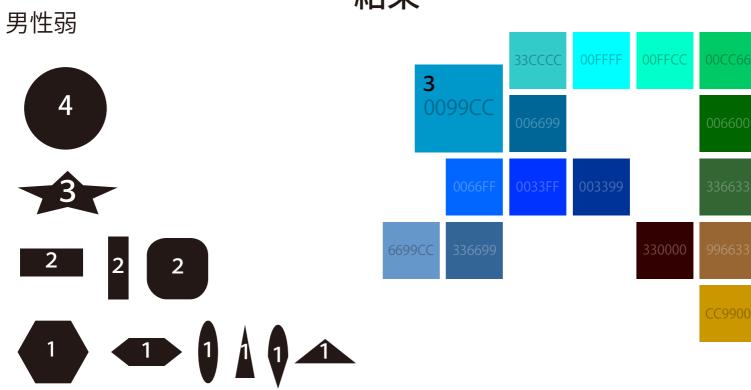
# 色データ

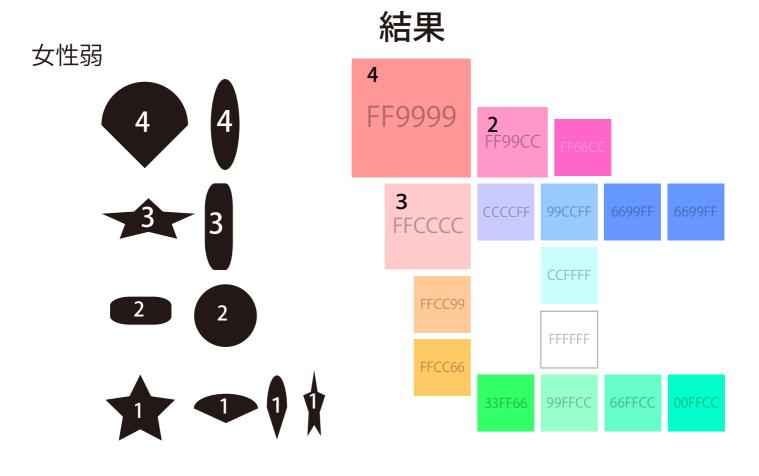


Flash 備え付けのカラーパレットを使用。被験者は 216 色のから選択。

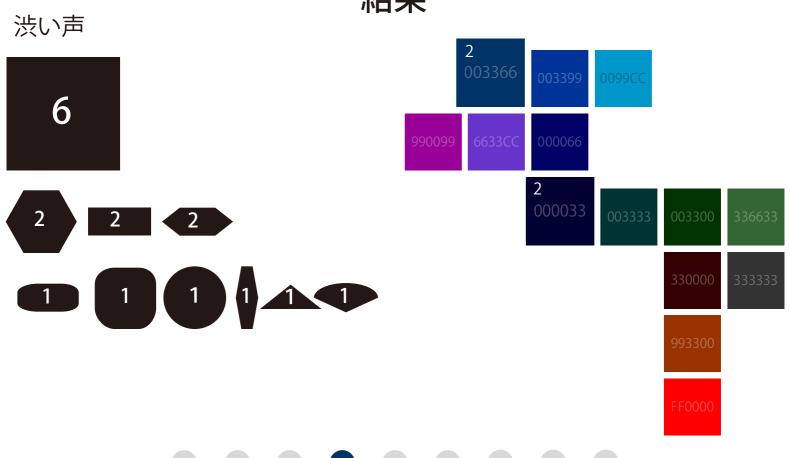


# 結果



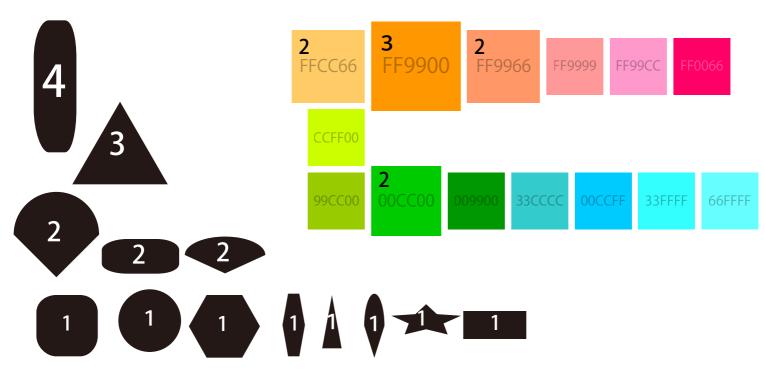


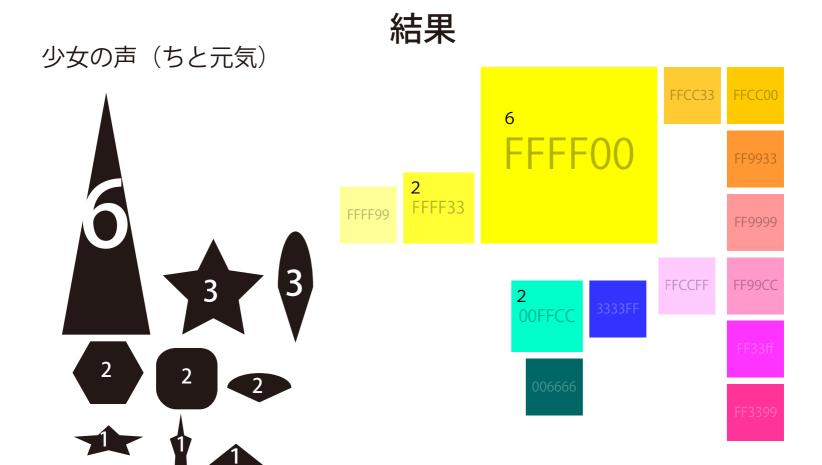
# 結果



## 結果

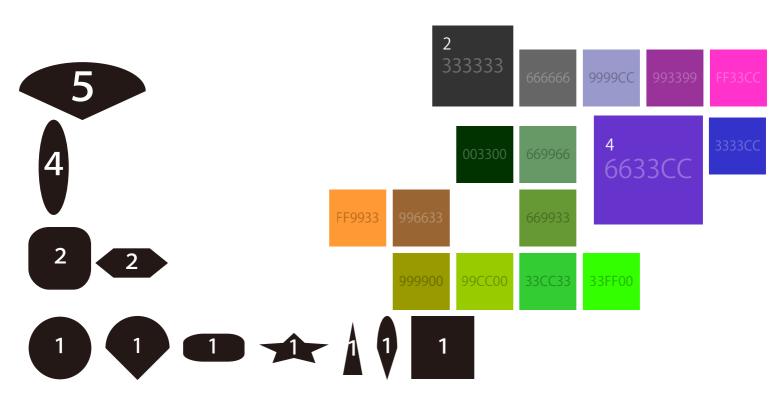
中性的な声(少年の声)



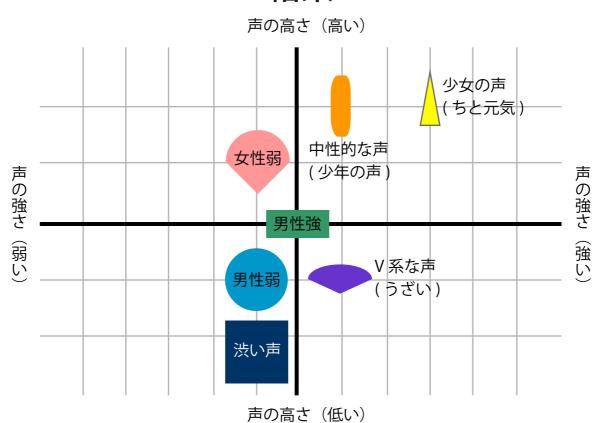


# 結果

V系な声(うざい)



# 結果



# 分析・反省

- ・「音」という共通イメージからある程度の共通性を認められた。
- ・今回音声「女性強」を調査する事が出来ず、分析をする事が出来なかった。
- ・アンケート作成に手間取り、調査が遅くなってしまった。

※アンケートを作成する際、プログラム面で笠井君に協力していただきました。

# 使用したソフトウェア

Flash

Illustrator

photoshop

Media Endoder

Audacity

Excel

OpenOffice

ご清聴ありがとうございました!